

# 議会だより みなかみ

果敢に挑戦  
障がいを乗り越えろ

令和元年(2019年)  
10月15日発行 60号

## 特集

### どう活用された 町のお金

#### 9月定例議会

平成30年度「決算」	…… 2
本会議審議内容及び結果	… 4
一般質問	…… 10
委員長報告	…… 16
この町あるある	…… 20



バックナンバー  
が見られます。



群馬県利根郡みなかみ町

表紙写真：月夜野中学校体育祭「障害物リレー」にて

# 平成30年度「決算」

## どう活用された 町のお金

昨年度のまちづくりに、どのようにお金が活かされたかをチェックした(2~3頁)。「昨年度との比較」と「財政内訳」を財源別、事業別で紹介する。

### 昨年度との比較(一般会計予算)

\*比率は総額に対するもの

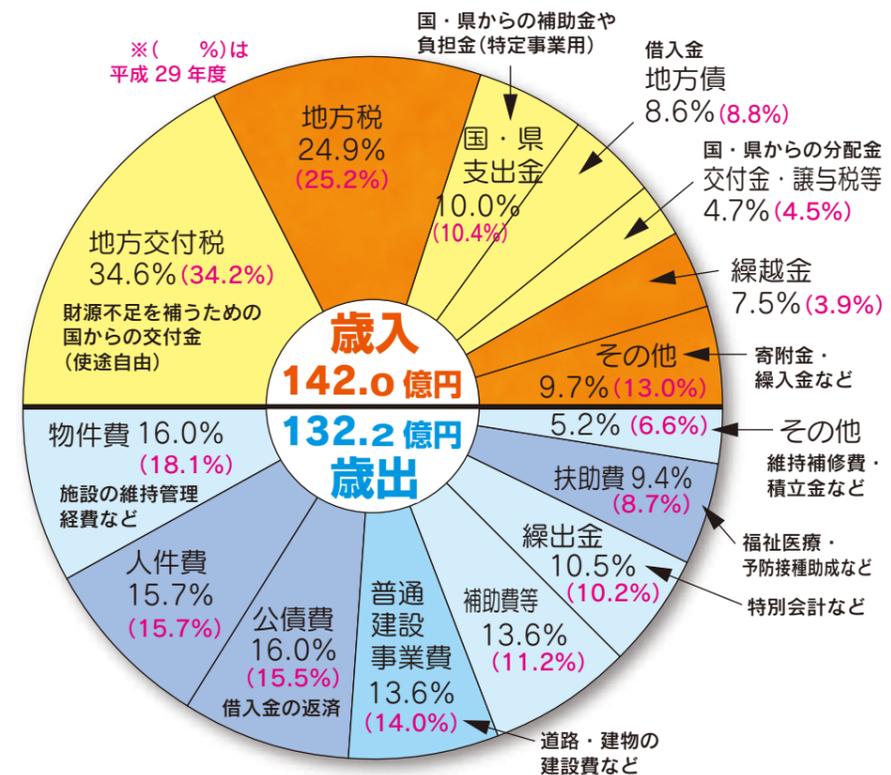
#### 歳入

平成29年度	自主財源 42.1%	依存財源 57.9%	145.7億円
平成30年度	自主財源 42.1%	依存財源 57.9%	142.0億円

#### 歳出

平成29年度	義務的経費 39.9%	投資的経費 14.0%	その他 46.1%	136.4億円
平成30年度	義務的経費 41.1%	投資的経費 13.6%	その他 45.3%	132.2億円

### 決算財政内訳(一般会計予算)



歳入 - 歳出 = 9.8億円

#### 内訳

- 4.8億円 平成30年度 未完成事業の繰越金
- 2.5億円 基金に積み立てる
- 2.5億円 繰越金

## 注目事業検証!

### 消防団員の活動服一新

# 1487万円

消防組織法改正による新基準に適合した活動服を全団員に配付した。

新たな活動服は素材が伸縮し団員が動きやすく、またデザインが変更され、広域消防の職員との判別が容易になった。



新しい活動服

### 空き家解体補助

# 240万円

町民の安全で安心な暮らしを確保し良好な住環境と景観の向上を図るため、要件にあった空き家解体に対し30万円を上限として補助した。



写真はイメージです

### 自伐型林業推進

# 616万円

研修を実施し、受講者の中から新たに1団体が自伐型林業を開始した。またフォローアップ研修も実施し、自伐型林業家の更なる技術向上を図った。



チェーンソーの使い方を学ぶ受講者

### 小・中学校トイレ改修

# 3326万円

桃野小学校の工事が終了し、町立小・中学校のトイレ洋式化率が約60%になった。きれいで明るいトイレに改修され教育環境が向上した。



改修された桃野小学校のトイレ

3日から13日までの会期で9月定例議会を開いた。発議1件、専決処分報告及び承認9件、条例9件、その他3件、認定6件、補正1件（6頁）を議決した。このほか請願（5頁）を審議し、一般質問は5名であった（10～15頁）。

※1 発議・議会から上程する議案。  
※2 専決処分・町長が議会に代わって意思決定を行うこと。  
次の会議に報告し、規程のないものは承認を求めなければならない。

## 本会議審議内容及び結果

### 議会の流れ

- 9月3日 本会議  
一般質問
- 9月4日 本会議  
一般質問
- 9月5日 連合審査  
全員協議会
- 9月6～10日 常任委員会  
総務文教常任委員会  
厚生常任委員会  
産業観光常任委員会
- 9月11日 特別委員会  
議会だより編集特別委員会
- 9月13日 本会議  
総務文教常任委員会付託議案  
及び厚生常任委員会付託議案  
補正予算

### 専決

#### 損害賠償

観光商工課が設置したのぼり旗が強風で飛ばされ駐車中の車両に接触した。車両を損傷させたことなどの損害賠償の承認。

#### 工事請負変更契約

町立小・中学校空調設備整備工事の進捗に伴い、室内機設置位置や設置教室を変更。また設計内容の精査などにより契約金額を増額し、変更契約したことを報告。

### 条例

全会一致可決

#### 会計年度任用職員の給与等

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が公布されたため、会計年度任用職員制度の条例制定が必要になった。主な内容は一般職としての会計年度任用職員の給与等について定めた条例制定。  
議会では総務文教常任委員会に付託して審議を行った。委員会

では経費の見込み、フルタイム・パートタイムの比率やALTの取り扱いなどを確認。可決すべきとの委員長報告があった。

#### 使用料改定

社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律が改正され、10月1日から消費税率が引き上げられることに伴い、関係条例を整備した。

#### 軽自動車税一部軽減

地方税法等の改正に合わせて、特定期間に取得した車の軽自動車税環境性能割税率を臨時的に軽減等する。

#### 固定資産税課税免除

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い、地域経済けん引事業計画に添った施設で、一定の要件を満たすものは固定資産税を3年間課税免除される。

#### 保育の必要性の認定

子育て支援の充実を図るため、就園要件の一つである保護者の就業時間を月64時間から48時間に緩和する。



#### 児童館

児童館の目的を効果的に達成するため、指定管理者に管理を委託することができる。

**質** いつ頃から指定管理にするのか。  
**答** 来年4月頃を予定している。

#### スクールバス

路線バスの一部ダイヤ改正により、スクールバス対象地域に藤原地区の一部を加える。

**質** 学校の公用車の使用は。  
**答** 通学にはスクールバス。公用車の使用は緊急時に限る。



スクールバス

### 契約

全会一致可決

#### 消防ポンプ自動車購入

消防ポンプ自動車一台、消防小型動力ポンプ付き積載車一台を購入するための契約。

**質** 配置先は。  
**答** 湯宿と東峰。



購入した消防ポンプ自動車

### 請願

請願	請願件名	請願人	付託委員会及び審査結果	本会議審議結果
第1号	地方財政の充実・強化を求める請願	茨川市石原 1629-1 日本労働組合総連合会 群馬県連合会 北部地域協議会 議長 渡辺 春彦	総務文教常任委員会 採択	採択 全会一致

# 補正

## 賛成多数可決

11..5

一般会計の補正予算を審議し、賛成多数で可決した。

### 討論

石坂 武議員

補正予算とは当初予算作成後に生じた自然災害など予見しがたい事態に対応するためのものと承知している。これを乱用することは健全財政から望ましいものではない。全員協議会にて担当課長より当初予算作成時に時間がなく、しっかりと予算計上ができなかったと発言があった。根拠のない予算計上が許されるのなら、今後全てにおいていいかげんな予算計上がされる危険性が高くなる。

賛 本多 公保議員

最近の傾向として当初予算より補正を重視するという話がある。それを尊重し賛成する。たぐみの里は町の観光拠点である。補正予算のなかにはプレミアム商品

券やこども園のことも含む。

中島 信義議員

たくみの里活性化事業はまだ実行していない中で5200万円の補正を計上した。計画がおかしいのではないか。計画をもって行うべき。

鈴木 初夫議員

たくみの里活性化事業は当初予算で可決した。しかし、関係者からの参考意見と称し、計画を大幅に変更して全てを要求する事案もある。十分な調査ができなかったと説明があったが、申請書提出期限までは1カ月あった。当初計画にはなかった新たな計画を押し込み、地方創生交付金事業は議会で承認したのだから補正予算を認めると聞こえる。起債を起こし町単で5200万円の補正を行うことは町民・議会への冒とくである。決められた予算の中で最大の効果を上げるのも行政の仕事。

総額 140億8373万円  
補正額 3億6790万円

### 歳出

たくみの里活性化事業	5200万円
プレミアム付き商品券事業	1億2192万円
生ごみ処理容器等購入費補助事業	65万円
空き家解体補助事業	150万円
スクールバス整備事業	450万円
中央公民館改修事業	715万円
埋蔵文化財調査事業	231万円
農林水産施設災害復旧事業	5040万円
その他	1億2747万円

### 歳入

交付金	2319万円
交付税	9594万円
国補助金等	3264万円
県補助金等	2820万円
純繰越金	4612万円
プレミアム付商品券売捌収入	9640万円
町債	3690万円
その他	851万円

(端数処理あり)

阿部 清議員

たくみの里活性化事業に対しては、地域の稼ぐ力を高めると共に町全体の観光業発展につながるもので、この事業に反対するものではない。しかし、当初予算額2億5000万円に対し今回5200万円と多額な補正であり、十分な積算を持たずに計上したことの問題がある。根拠のない予算計上は認められない。再度精査し予算計上することを求める。

賛 高橋 市郎議員

補正予算額3億6790万円のうち消費税率の変更に伴う民生費のプレミアム商品券1億2192万円、これが主である。子どものための保育給付費、その他災害復旧費等緊急を要する事業が含まれている。たくみの里は観光の拠点。整備をするうえで慎重に進める必要があるが、長期的な観点からこの計画は良いと理解している。

## 審査結果の総括意見

代表監査委員の澁谷正誼氏より決算審査意見書の報告があった。(一部を要約)

平成30年度決算について、一般会計、特別会計及び企業会計を通じ会計処理は適法適正であると認められたので報告する。

### 歳入

町税及び使用料等は町を支える礎であり、収入未済額を増やさない対応を今後も重要課題として取り組まれない。毅然とした対応により、住民間の公平と財源の確保に努めることが、今後厳しさを増すと予想される財政運営からも強く望まれる。



### 歳出

個別の事務事業の必要性・重要性について更なる検討を進め、経費の節減に努められたい。また、契約書の締結が必要な事業は規則を順守し、事務を進めていただきたい。補助金に関しては積算根拠を明確にし、補助金交付要綱に沿って公平公正に執行していただきたい。

### 積立基金

基金等の総額は約74億円となり前年比5億円減。今後各種の多額な費用負担が町財政を圧迫させることは想像に難くない。適切な基金管理に努められたい。

### 行財政改革

急速に進んだ職員削減というなかで、従前の事務作業をそのまま継承しているものも多く、また社会要請の高まりによる業務の増加もあると思われる。新たな人事管理とともに現状と将来を見据えた事務事業の構築が急がれる。

### その他

町営住宅は各団地の特性と情勢などを分析し、将来に向けてあるべき姿を検討すべきと思われる。自伐型林業推進事業として新たな林業経営のあり方を推進してきた。エコパークの理念を具現化する方策の一つとして積極的な推進を期待する。空き家解体補助金は、要望のある多くの町民に対応できるよう望む。テレワークセンターを有効に活用し、ひと・企業の活発な交流を期待したい。以上、本町の将来に向けて対応を望むものである。



## 活動報告

場所・東京都

## 町村議会広報クリニック

7月9日、他町村と共に、議会広報制作について研修、クリニックを受けた。『誰に、何を、伝えるか』という基本に基づき、真実性、双方向性、網羅性、平行性、戦略性という理念を確認、またデザインの原理、原則を学んだ。講師より指摘されたことを参考に、改善しながら、さらに見やすい、読みやすい紙面づくりに努めたい。



カラーチャートを使い表紙の色彩を学ぶ



# 決算連合審査会内容

9月5日に3常任委員会が合同の「連合審査会」を開催した。本会議で決算審議を行うために、審査会において質疑応答で詳細を審査する目的がある。

## 一般会計

### 歳入

- 質** 上毛高原駅前駐車場収益還元金が昨年度と比較し減額しているが。
- 答** 平成29年度は人件費が算入されていない。
- 質** 平成30年度の人件費が町の負担となった経緯は。
- 答** 基本協定に適正に管理する体制として、従業員の雇用や管理責任者の配置を求めていることを、改めて確認した。

- 質** この還元金の目的はDMOの自主財源をつくることだった。DMOの現状は。
- 答** 観光客数や消費額が上がる成果が出るべきだが、横ばいのまま。自主財源も含め予算内容についても行政が関与できる仕組みを考えていきたい。
- 質** 受益者等負担収入の収入未済額、不納解消はいつ頃か。
- 答** 一部は今年度中に解消させるべく交渉している。

## 歳出

- 質** 支所費のポリ塩化ビフェニル廃棄物処理委託料の予算は12万円であった。331万円支出した理由は。
- 答** 蛍光灯の安定器を処分しきれ順番待ちをするなか、12万円を運搬費として予算計上した。処理することが可能となり補正した。
- 質** 固形燃料RDF運搬処理業務委託の量・単価は。また行政視察委託料とは。
- 答** 固形燃料RDF生産量は2568トン。トンあたりの処理費用は3万9千円(税抜き)。視察のため航空料金を旅行者へ委託した。
- 質** 民間保育園障がい児保育事業補助金、需要が増えたとき町の対応は。
- 答** 状況をふまえ検討する。

- 質** にはいることも園の給食は園で全児分一括し調理できるのか。
- 答** 0から3歳児までの給食を園で調理し4から5歳児分は給食センターで調理している。給食のメニューによっては可能だが調理室は狭い。今後の課題として検討したい。
- 質** どの消防団詰所を改修したのか。今後の改修は。
- 答** 上牧。解体は入須川。再編も含め計画的に整備したい。
- 質** 携帯メール配信システムは格安スマホにも対応しているのか。
- 答** 現在は対応している。
- 質** 国等補助金を受けてつくった施設の中で、低利用施設の今後の管理は。
- 答** 維持管理費と国等へ補助金を返還するのを比較し検討したい。



- 質** 鳥獣被害防止パトロールについて町の考えは。
- 答** 60カ所設置してある捕獲用おりを一日一回は点検していることの理解を得られるようにしていきたい。
- 質** 松くい虫駆除・防除事業、今後の対策は。
- 答** 人家近くなどで立ち枯れると危険。伐倒が必要。
- 質** カルチャーセンターは指定管理制度を利用し経費削減ができるのか。
- 答** 町民の利用が多く、収益性の低い施設となっている。指定管理者が収益性の高い自主事業を実施することにより管理料の削減ができると考えている。

## 国民健康保険特別会計

- 質** 健康教室委託料の内容と参加人数は。
- 答** 健康講話・健康チェックなど。参加は延べ127人。

## 介護保険特別会計

- 質** 認定訪問調査委託料が前年度と比べ減額したが。
- 答** 新規申請は町で調査し、更新は社協などへ委託している。
- 質** 運営協議会費が昨年度と比較し減額したが。
- 答** 平成29年度は第7期計画を策定するため会議数が多かった。平成30年度は一回だけの開催。

## 下水道事業特別会計

- 質** 水洗便所改造資金貸付基金積立金利子は整理できないのか。
- 答** 基金条例に基づき処理をしている。事業のPRにもなるので継続させたい。

## 水道事業会計

- 質** 業者委託が料金徴収業務2100万円。その実績は。
- 答** 平成30年度の収納率は99%を超えている。併せて下水道のPRも行なっている。

## 連合審査会審査結果

### 全会一致認定

審査の結果は全会計(一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計)において、反対・賛成の討論はなく、全会一致で認定すべきものとなった。



一般質問とは 議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めもの。執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

### 事前通告一覧

- 阿部 清** あべ きよし
  - ① 高齢者ドライバー対策
  - ② 防災教育の重要性
- 窪田 金嘉** くぼた かねよし
  - ① 提案と現在の行財政状況を知る
- 高橋 久美子** たかはし くみこ
  - ① ユネスコエコパーク水源の町として森林環境保全からの「シカ問題」に対する取り組み
  - ② 中高齢者のひきこもり問題
  - ③ 高齢者の安全運転の為の支援
- 牧田 直己** まきた なおき
  - ① 後閑駅の活用方法
  - ② 高原千葉村の今後の活用
  - ③ 職員の就労環境、残業状況
  - ④ ふるさと納税について
- 鈴木 美香** すずき みか
  - ① アメニティーパークについて
  - ② 町のホームページについて



阿部 清 議員

## 町長 意見伺い、検討していく

### 踏み間違え防止装置設置に補助を

**問** 社会の高齢化とともに、高齢者ドライバーへの対策が急務であると言われている。高齢者による事故を減らすには、高齢者ドライバー対策が重要とされている。町ではどのような取り組みをしているのか。

**答** 町長 高齢者ドライバー対策は、一つの取り組みで解決するものではないと考える。これからの課題も含め検討していく。

**答** 町長 地方の実態として、公共交通に不便を感じている住民は多く、買い物支援、移動支援など幅広く検討していく。

**問** ブレーキとアクセルの踏み間違え防止装置を取り付ける高齢者に、費用の一部を助成する取り組みの考えは。

**答** 町長 議員の意見も伺い、今後、検討していく。



全国交通安全運動ポスターから

### 防災教育の重要性

**問** 災害が発生した際、被害をできるだけ小さくするには事前の取り組みが必要。その中の一つが防災教育。今後、地域の防災力向上を見込んだ取り組みは。

**答** 町長 自主防災組織活動補助金制度を活用して、地域の防災力向上に役立てていただきたい。

**問** 災害時、避難所となる施設が中心となる。避難所としての学校における防災教育も必要と思うが、各団体と連携した取り組みの考えは。

**答** 教育長 学校が避難所となる場合を想定して、避難時の対応や避難所運営の事前確認を行い、関係部署と連携を図り具体化していく。

**問** 防災教育で最も重要な事が防災訓練。実施にあたり年代を問わず、多くの町民が参加するには、ゲーム感覚で楽しみながら参加できる取り組みも必要では。

**答** 町長 訓練に参加していただくには、興味を持っていただくことが大切。体験型の防災訓練を参考に考えていく。



2015年9月に沼田市で行われた県の防災訓練

**問** 昨今、高齢者による重大交通事故が相次いで起きており、運転免許返納の声が高まっている。安易な運転免許返納要求は地方の現状を見落としているのでは。



窪田 金嘉 議員

### 現在の行財政状況は

#### 町長 歳入は財源確保に努め 地方債の抑制を図る。

**問** 地方自治体財政健全化法では三段階に分かれる。「健全段階」「財政の早期健全化」「財政の再生」、町はこの3つのいずれか。

**答** 町長 健全段階といえる。町では実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は負数となるため、数値が計上されず問題はない。実質公債費比率は11・8%で早期健全化基準の25%を下回っている。

可能。利率が民間等資金より公的資金が有利。  
**問** 余裕度を示す財政力指数は、高いほど財政力が強い。財政力指数は、普通0・6～0・7。平成30年度の数値はどの位か。

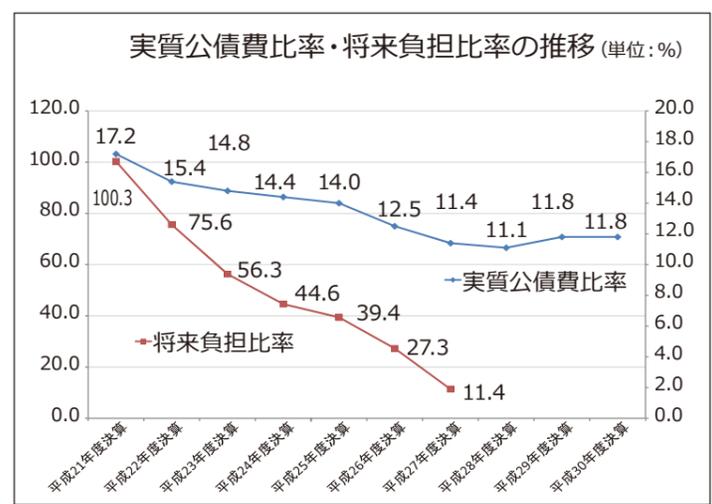
**答** 町長 町は平成30年度は0・428。令和元年度は0・425。

**問** 財政構造の弾力性、経常収支比率は70～80%が良好。平成30年度はどの位か。

**答** 町長 経常収支比率は、平成30年度95・0%。

**答** 総合戦略課長 経常収支比率が高くなる理由は、分母である標準財政規模の縮小で最大の理由は普通交付税の減少が要因。  
**問** 歳出削減だけで将来的に後世代の負担にならないか。

**答** 町長 地方債財源は、大規模事業の実施で後年度に公債費が増加し、実質公債費比率が高くなる。事業規模の縮小、年



度間調整等で歳出削減を実施。歳入は財源確保に努め、地方債の抑制を図り、後世代への負担を最小にしたい。



高橋久美子 議員

### 「シカ」の低密度管理で水源をまもるには

#### 町長 生物多様性保全の計画策定と実行に繋がりたい

**問** ユネスコエコパーク水源の町として森林環境保全からの「シカ問題」に対する取り組みについて質問。全国で生息数、分布域とも急増しているのが「シカ」といわれている。当町における「シカ」の被害状況は。

**答** 町長 果樹の新芽や野菜・造林木などの食害や角こすりによる樹皮剥ぎを確認。ただし、森林を含む町内全域の被害状況の詳細は、把握できていない。

**問** 他の自治体とはことなり、生物圏保存地域の核心地域の「シカ」の問題の認識は。

**答** 町長 林床植生の摂食による自然林の世代交代を妨げ土壌の流出や、生物種の減少を招くなど、みなかみBRの生態系や生物多様性の保全に重大な脅威。

**問** 問題が大きくなる前の「シカ」の低密度での管理が重要。町としての独自の管理計画を作成し、森林保全、生物多様性の保存に取り組みが必要かと思うが。

**答** 町長 現状把握の為に調査を行い、データを解析することにより、「シカ」の影響を評価し、生物多様性保全のための計画策定と実行に繋がっていきたいと考える。

#### 中高年のひきこもり

**問** 40歳～64歳でひきこもり状態の人、全国で61万人。政府が中高年層を対象に初めて実施した全国規模の調査。8050問題の深刻さが裏付け。当町の現状は。

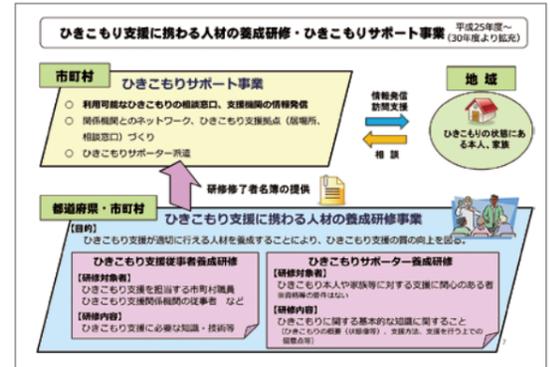
**答** 町長 8050問題を含め調査は行われていない。相談件数は今年度8月までで2件。

**問** 身近なところでワンストップで相談できる窓口が必要と思う。社協の事業で「なんでも福祉相談」は断らない相談をモットーに伴走型。悩んでいる人が安心して相談できる受け皿体制とし

て、町もこの事業をバックアップできないか。  
**答** 町長 社協が財政的に大変だが、町が支援できるところがあれば当然やっていきたい。



捕獲されたシカ



社会的孤立に対する施策について～ひきこもり施策を中心に～(厚生労働省資料より)



牧田 直己 議員

### 後閑駅の活用方法は

#### 町長 利用可能な範囲で検討

**問** 1日平均800人が利用する後閑駅の無人化に伴い、駅周辺の環境や活気の低下が不安視され、住民から対策の要望が強い。後閑駅の活用方法について町のビジョンは。

**答** 町長 JR東日本高崎支社と事務レベルでの協議を推進。高校生等の学習室を例として施設の利用可能な範囲や費用等を検討。

**答** 町長 全体を劣化させないよう維持していくことは非常に難しい。

**答** 町長 アウトソーシングできる業務はどんどんやっていく。

#### 職員の就労環境は

**問** 働き方改革が強くうたわれながら、町はイベントも多く、休日出勤や残業が重なる職員が多い。労働過多が懸念されるが対策は。

**答** 町長 しごと改革と意識改革を進め、時間外勤務の削減に取り組んでいる。

#### ふるさと納税の取り組み

**問** 近年は企業版ふるさと納税も出来たが、町は未だ取り組んでいないようだ。今後の予定は。

**答** 町長 これから積極的に取り組んでいきたい。



JR後閑駅

#### 高原千葉村の今後の活用

**問** 施設を千葉市から約2千万円で購入した。今後の活用ビジョンは。

**答** 町長 町直営での運営は現実的ではない。民間事業者に公募の手続きを始める。現段階で、幾つかの民間事業者から問い合わせがある。

**問** 建物維持には費用がかかる。特に水回りの劣化が心配。その対策は。

**問** 時間外勤務の削減には、アウトソーシングでできる業務はすべきではないか。

※1 内部の組織で行っていた業務を外部会社に委託すること。



企業版ふるさと納税パンフレット (内閣府 地方創生推進事務局より)



鈴木 美香 議員

### ホームページで積極的な情報提供を

#### 町長 内容の充実を図りたい

**問** 町のHPにはどんな役割があるか。

**答** 町長 情報発信を通じて、町内外の方々の行政情報を共有するシステムの一つ。

**問** HPの更新は誰がどのようなタイミングで行い、担当者不在や緊急時の対策は。

**答** 町長 各課の依頼で担当者更新。また、各部署での

更新処理やホームページ導入業者への委託も。

**問** 表記の仕方やリンク先が適切ではないものがある。新旧のデータが混在したHPは情報に確実性・信頼性がなく、不安を感じるが。

**答** 町長 毎月全職員に内容を確認して必要に応じて更新しているが、人事異動に伴い更新作業が上手くいっていない。分かりやすさに配慮して、適切な表現方法の検討や、関係課との連携により、内容の充実を図りたい。

**問** 必要な時に、必要な人に、必要な情報を与えるのが自治体HPの役目。今後HPを積極的に活用した情報の提供の考えは。

**答** 町長 町に関心を持ってもらうため努力をしていきたい。

#### アメニティパークに持ち込まれる

**問** 不用品・粗大ごみ どれくらい再利用として活用されているか。

**答** 町長 平成29年度 214人1151点、平成30年度 236人、1594点、今年8月までで、85人518点。

**問** 利活用できることの情報提供は。

**答** 町長 広報は行っておらず、口コミの状況。今後はPRしていきたい。

**問** 有償販売している自治体も大変多い。収入源の一つになるのでは。

**答** 町長 手数料をいただいている。現状では難しい。

**問** 修理やメンテナンス、仕分けに雇用の場としての提供は。

**答** 町長 有償か、ボランティアでやっていただけるか研究が必要。

**問** 観光客などに対し、アメニティパークが処理施設とわかるような対策は。

**答** 町長 名称変更は考えていない。



みなかみ町のホームページ



新しい使用者を待つ自転車

ごみ処理調査特別委員会の最終報告 (一部抜粋)

昨年12月に設置された当調査特別委員会では、数多くの委員会等を重ね概要をまとめて今議会で最終報告を行なった。茨城県のS商店へ固形燃料(RDF)の販売を打ち切った経緯、みなかみエネルギーサービス(MES)との接点、及びRDFの実証試験の協定書などについて報告。

平成26年に元町長より奥利根アメニティパークの経費削減の指示、当時の担当課長が経費削減は町民の負担軽減となるので、RDFの町内循環構想の推進の検討を開始したことは評価する。

当時RDFの運搬費(1トン2万1千円)の委託先、IHI環境エンジニアリング(IKE)は茨城のS商店に減量を打診。S商店は今迄同様全量でなければ受け入れられないとの回答をしてきた。元課長はIKEと運搬量の減量協議、元町長の決裁も取らず独

自の判断で来年度は0にしてももらいたいと伝えた。

平成29年4月からRDFの生産は日々行われているが(1日10トン以上)、運搬処理先がなく、奥利根アメニティパークでの保管量が限界になり、運搬処理の見積りを2社から取り、ウイズウェイストジャパン(1トン3万9千円)とで契約を締結。その結果多額な費用となっている。

平成28年1月にMESの代表者が来町、元課長に面会、ボイラーでRDFを燃焼しスッポン事業を起業したいとのこと。北海道富良野市でのRDFボイラーの実用状況を説明、同年6月当局よりその内容を厚生常任委員会へ報告、常任委員会より町内循環が可能であれば勉強したほうがよいと提案した。

常任委員会では7月20日より北海道富良野市へRDFボイラー

の状況を視察。事前に運搬していただいた当町のRDFを燃焼、排ガスより基準値の7倍強のダイオキシンの発生したとのこと。

MESの代表者が来町したのは当初富良野市からの紹介と議会に報告があったが、調査した結果そうした事実はなく元担当課長の勘違いだったことが判明。その後公式記録では元町長に面会した事実はなく、非公式での面会が判明した。

RDFの町内循環と実証試験を進めるための協定書を平成29年10月にMESの代表者と締結したことを元町長と元厚生常任委員長に報告。同年10月末にM新町長が誕生。新町長より協定書に不備があると指摘、変更指示がでた。しかし未提出。

前町長は30年5月までは実証試験を推進、一連の騒動後は方向を転換し抗争の具にした。その後議会にも協定書が提示されたが、実証試験は1年と確認していたが協定書にはボイラーの耐用年数以上であり、失敗した場合の後処理の責任所在がなく当初から成功あ

りきではと思う。実証試験でありながら町有地内に施設を建設したことも不適切。

平成31年2月に当調査特別委員会北海道富良野市へ赴き調査、ボイラーには複数の能力に課題があり、調整、修繕中で当時は稼働していない状況、遊神館内での実証試験には疑問を感じた。

調査特別委員会としては一連の事案について説明と、協議が十分だったため問題が大きく、複雑にしたといわざるをえない。当調査特別委員会では十数回わたり、委員会、調査、関係者への聞き取りなどを進めてきたが限界を感じた。

今後町当局として本最終報告を受けて対応して頂くことを申し述べ最終報告とする。

※詳細については議事録をご覧ください。 1月ころホームページへ掲載予定です。

ふるさとクイズ



★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。 ★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面のFAX用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会への伝言を記入し、お送りください。 ※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318 みなかみ議会だより 「ふるさとクイズ・ご意見」係 締切：2019年11月30日(当日消印有効) ※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

平成30年度に町が使ったお金はいくらでしょうか? A 132円 B 132万円 C 132.2億円

前回の議会だより59号ふるさとクイズの正解は「◎40人」でした。

Envelope template for the quiz. Includes address: 群馬県利根郡みなかみ町後閑318, recipient: みなかみ議会だより 「ふるさとクイズ・ご意見」係, and a postage stamp area with a 714 stamp.



朝靄の藤原湖 (フォトコンテストより)



皆さんの  
おたより

ハガキの方は、この線で切り取り  
内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127



- クイズの答え ⇨ \_\_\_\_\_
- 差出人住所 ⇨ 〒 \_\_\_\_\_
- 差出人氏名 ⇨ \_\_\_\_\_  
(ふりがな)
- 年代 ⇨ ・～10代 ・20代 ・30代  
(該当項目に○印を付けてください) ・40～60代 ・70代～

○議会への伝言

谷折リ線

のりしろ

のりしろ

のりしろ

# みなかみだより



ここに掲載以外にも多数のご意見を頂き、ありがとうございました。  
※字数の関係で簡略的表記をしています。

問い合わせ  
☎25-5023  
議会事務局直通

40代  
60代

人口減少・少子高齢対策・BR・観光戦略どれも重点施策。しかし、どれも人を呼び込むためのもの。外に考えを向けることも大事だが、もっと町民が心豊かに感じられるよう自分たちの地域を活性化すればよい。そんなに悪いというか魅力がない町ではない。



70代

利根川は昔、鮎の時期はたくさんの釣り人がいた。今はマスのつかみ取りも一時期。ラフティングのためできないのか。



70代

県道の草刈りをしてもらえるよう土木へお願いしてほしい。交通量が多いので避けても危険。運転をしないものは足がなく生活に困る。一人暮らしは除雪に困る。毎日社協へ頼むのはお金がかかる。



70代

がたがたの道路が直りぐつすりとなつた。議員のおかげ。



70代

特集『高校生に聞きました!』は、選挙についての特集でたいへんよい思いつきだ。若者も老人も考えることは共通していいことだ。



70代

子どもの頃食べ物が貴重だった。このため議員の質問(6月の一般質問)は良いと思った。スーパーやコンビニで賞味期限が近いため捨てられる品物を、安く販売する場所があると良い。また使用済みの食用油の処分場をつくる。



〈イラスト〉利根商生 作



## 町の お宝紹介

素晴らしいこの町を町民の皆さんと一緒に大切にしていきたいため、議会発で町にある「お宝」を再確認するコーナーです。「この町には、いろいろある。何もないことはない。」このコーナーでは、皆さんからの情報もお待ちしております。町のお宝をご存じの方は是非ご一報ください。



# 現代の名工

## 牧 武夫さん

(鹿野沢区)



みごとな細工物

牧武夫さんは日本料理の調理人です。平成30年11月に卓越した技能者「現代の名工」として表彰されました。現代の名工とは国内で第一人者と目されている現役の技能者を厚生労働大臣が表彰するものです。

も力を注いでいます。職場である水上温泉山楽荘でお話を伺いました。

### 巧みな包丁さばき

牧さんは自身が調理するだけにとどまらず、日本料理の普及に

牧さんはむきものや細工物に高い技術を持ち、業界内で第一人者と目されています。巧みな包丁さばきで料理を彩り、お客様に喜ばれています。手をかけてつくった料理、季節を感じながら残さずにご食べてほしいと話します。

### 後進の指導と日本料理の普及

牧さんは平成9年から技能五輪全国大会の選手強化委員として選手の指導にあたり、今日まで多くの受賞者を輩出しています。選手には手の洗浄からはじめ、技術だけではなく料理に向き合う姿勢まで指導するそうです。しかし、若者への教え方は料理以上に難しく、接し方など気をつかいながら



全国ものづくりフェスティバル 出展作品と

創作し地元食材の普及にも貢献し

牧さんは平成9年から技能五輪全国大会の選手強化委員として選手の指導にあたり、今日まで多くの受賞者を輩出しています。選手には手の洗浄からはじめ、技術だけではなく料理に向き合う姿勢まで指導するそうです。しかし、若者への教え方は料理以上に難しく、接し方など気をつかいながら

## 編集モニターアドバイス 利根商総合ビジネス部

- ・59号の表紙について。緑色の背景に黒色の文字が見づらい。
- ・注釈や下線を青色から赤色に変更したほうが見やすい。

今号は文字色についてのアドバイスを頂きました。文章の読みやすさは紙面作りで最も大切なことです。視認性に気をつかい編集していきたいと思います。

## 利根商野球部 高橋主将選手宣誓



堂々と宣誓

7月6日、第101回全国高等学校野球選手権群馬大会の開会式で利根商の高橋晃生主将が67校62チームを代表し選手宣誓を行いました。高橋主将は和田洸鷹副主将と共に考えまとめた宣誓を堂々とよどみなく披露しました。

チームは初戦の孺恋4-1、2回戦伊勢崎清明7-6、3回戦桐生市立商4-1と勝ち進み3年ぶりにベスト8になりました。

ますますの活躍を祈ります。



試合終了後の校歌斉唱

### 虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法により、左記の行為は禁止されています。また、町民の皆様が議員に寄付を求めめるようなことも禁止されています。趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。



町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ

お祭りへの寄付や差し入れ

お歳暮やお年賀

地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

## 議会傍聴のご案内

傍聴は、どなたでもできます。ただし、当日に議場入口で受付を済ませてからご入場ください。

…………… 流れ ……………

- ①受付にて「受付表記入（住所・電話番号・氏名・年齢）」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※注意／飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

次回の定例会は

**12月 3日（火）～  
12月13日（金）の予定。**

場所：役場本庁舎3階議場

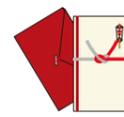
時間：開会は9時

席数：34席

【問合せ先】議会事務局  
☎25 - 5023

## 議会だより編集特別委員会

- 委員長…森 健治  
副委員長…高橋久美子  
委員…鈴木 美香・阿部 清  
窪田 金嘉・本多 公保  
中島 信義  
編集アドバイザー  
利根川太郎  
編集モニター  
利根商業高等学校生徒



秘書などが代理で出席する場合の結婚祝



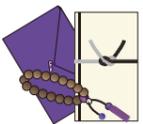
入学祝・卒業祝



町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ



お祭りへの寄付や差し入れ



秘書などが代理で出席する場合の香典



葬式の花輪・供花



落成式・開店祝の花輪



お歳暮やお年賀



地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ



「現代の名工」表彰状

指導にあたるそうです。

平成20年に群馬県技能士会連合会から「全技連マイスター」の認定を受けてからは、国際フォーラムなどで開催される調理の体験事業で講師を務めています。野菜の切り方とむきものの体験を通して、多くの人に料理に興味を持ってもらいたいと話します。

素晴らしい経歴を持ちながらも、それを自身の口からは話さない牧さん。微笑みながら私たち編集委員の話に耳をかたむけ、時折ぼつりと思いを伝えてくれました。また、編集委員が帰るときには雨の中最後まで見送ってくださいました。牧さんのこれからの活躍を期待します。

# もっと知って

宝利 誠政さん 43歳(上牧区)

裕希江さん 43歳



「カンナくず」を染めてつくったコサージュ。裕希江さんの作品です。



こちらも裕希江さんが染めた作品。

## 町を知ったきっかけ

十代のころ趣味のウィンタースポーツをするため町内のスキー場を訪れ、その後スキー場でアルバイトをした。

## なぜ、移住を?

自然が豊かだから。特に山が好きなので谷川連峰に登り、冬期はスキーで滑りたいと思った。また東京在住の両親のもとへ何かあれば駆けつけられる距離だから。

## 町の印象は

より深く興味が持てる町。町全体として温かい。

## 住んで良かったことは?

家から谷川岳が望めること。好きな季節は真冬。自然にドップリとひたれる。

## お困りのことは?

困ったことがない。子どもたちの通学について、熊の出没を理由に車で送迎していることくらい。できれば徒歩で通学させたい。

## 提案されたいことは?

町に住んでいながらアウトドアスポーツの経験がない人が多いので体験してほしい。観光の町として積極的に知って発信してほしい。年間5万人いるアウトドアアクティビティ客を、宿泊や飲食へつなげ町内循環させ町全体の収益を上げられないか。アウトドアフェスティバル

## 抱負は?

この家で楽しめることを見つけた。上牧地区の方、同世代の仲間と、地区もアウトドアスポーツも盛り上げたい。みなかみ町は良いところ。色々な人と共有しながら自分も楽しんでいきたい。林業仲間(モクメン)と共に、吉平地区の山林を間伐し林道の整備をしている。間伐をすれば紅葉もきれいになる。

## 議会に一言

議員にもアウトドアスポーツを体験してほしい。

## 町民へのメッセージ

温かく受け入れてくれた。町になかった新しいものを生み出し発展させたい。

## 編集後記

早いもので、9月で議員になって1年が経過しました。議会だよりは、議員の考え方や活動状況を町民の方々にお知らせする場であり、議員一人ひとりの魅力を引き出す場でもあります。

議会だよりは、もう少し色濃く議員の「人と成り」を表現できる場でありたいと思っています。町の広報とは一味違う紙面づくりが、魅力ある議会だよりをお届けできると感じています。

町の行財政も不安と混乱の時代を迎えております。平成の大合併から14年、合併の特典期限切れが近づき、予算編成にも厳しさが見えてきました。職員も議員も運営手腕を問われることとなります。議会だよりで表現できれば幸いです。



(窪田金嘉)



移住・定住シリーズ②



宝利さんご一家

夫の誠政さんは東京都生まれ。2018年アウトドアスポーツを企画運営するワンドロップ株式会社を設立し、近年は自伐型林業も始めました。妻の裕希江さんは前橋市の出身で染めものアーティストです。

2004年から町へお住いのご夫婦を紹介します。